

健康問う不審電話

商品勧誘の可能性も

(2016年2月2日掲載原稿)

最近、健康について尋ねる不審な電話に関する相談があります。

「お元気ですか。体の具合が悪いところはないですか。お薬は飲んでいませんか」など、健康に関する質問をしながら世間話をした。最後に住所や氏名、年齢を聞かれ、「アンケートに答えていただいたお礼に健康食品を送ります」と言って、電話が切れた。後でおかしいと思い、ナンバーディスプレイに表示された番号に電話してみたが、発信専用でつながらなかった。荷物が届いても受け取りたくない—という相談がありました。

アンケートと称し、電話で個人情報などを聞き出した後、商品販売の勧誘につながる可能性があります。相手が親切的な口調で話しても、どこの誰かが分からない人と個人的な話をするには注意が必要です。承諾した覚えのない荷物が届いた場合は、受け取りを拒否しましょう。その際、できれば差出人の住所や名前、電話番号などの情報を控えておいてください。

電話勧誘以外に、公的機関を名乗り「個人情報削除する」「給付金の支給がある」といった詐欺的な電話もあります。公的機関がこのような電話をすることは決してないので、注意してください。

被害に遭わないために、電話機に相手の電話番号が表示される場合、知らない番号の電話に出ないようにするのも対策の1つです。電話に出た場合は、相手の名前や事業者名を聞き取り、不要な内容であれば相手にせずすぐに切りましょう。

相手の番号が表示されない場合は、留守番電話に設定し、必要な相手にだけ折り返してかけるなどの工夫をしましょう。